

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	認知症サポーター養成事業		
事業担当	福祉部 高齢福祉課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	健康・安心・福祉力 その人らしく安心できる生活を支援する	
	'01	1 総合的なサービスを展開する地域ケア体制を充実する	
根拠法令等	介護保険法		
対象・受益者	一般市民	事業期間	平成22年度 ~
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他 】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりが行われています。		認知症高齢者対策を推進するため、養成講座を開催し、認知症サポーターを養成します。また、養成講座修了者に対して育成事業にてフォローアップの講座を行います。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	認知症サポーター養成講座開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	実績	49	54	65		
活動指標	指標名	認知症サポーターの地域交流会実施回数(平成26年度まで)			単位	回
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	実績	41	39	12		
活動指標	指標名	認知症サポーター養成講座修了者の育成事業実施回数(平成27年度から)			単位	回
	説明・算定式	延べ回数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	実績				8	
成果指標	指標名	認知症サポーター養成数			単位	人
	説明・算定式	累計人数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	実績	6739	8236	10252		
成果指標	指標名	認知症サポーターの地域交流会参加者数(平成26年度まで)			単位	人
	説明・算定式	実人数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	実績	593	652	243		
成果指標	指標名	認知症サポーター養成講座修了者の育成事業への参加者数(平成27年度から)			単位	人
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	実績				40	
進捗状況	： 予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
認知症サポーター養成講座を地域住民や小中学校の生徒等に対して実施し、2,016人のサポーターを養成しました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	認知症高齢者が増加するなか、認知症サポーターを増やし、身近で見守ることにより、認知症高齢者と家族が安心して在宅生活を続けることができるようにするために必要です。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	認知症サポーター交流会を実施して認知症サポーターの意欲を高め、活動を継続できるように働きかけることにより認知症高齢者と家族への支援を充実することができることから、有効性は高いと思われます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	認知症高齢者が増えていくことから、認知症サポーターの養成・育成は妥当性が高いと思われます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	民間においても実施が可能であり、民間活力を活用することにより高い効率性が期待できます。	高中低
今後に向けた課題の分析 認知症サポーターの対象を地域住民だけでなく金融機関、スーパー、企業等、高齢者が利用する機関にも要請していきます。また、養成講座修了者に対して、見守り活動やボランティアなどの地域での活動を視野に入れたフォローアップ研修を行います。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		認知症サポーター養成講座、認知症サポーター育成交流会の開催	認知症サポーター養成講座、認知症サポーター育成交流会の開催	認知症サポーター養成講座、認知症サポーター育成交流会の開催	認知症サポーター養成講座や認知症教室、認知症ケアパスの普及
財源内訳	国庫支出金	85	59	102	362
	県支出金	43	29	51	181
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	45	31	54	203
	一般財源	43	29	52	181
事業費 (A)		216	148	259	927
執行率 (%)		93.91	92.50	92.50	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
金融機関、スーパー、企業等高齢者が利用する機関の関係者にも働きかけ、多くの市民を対象に認知症サポーター養成講座を開催します。また、認知症サポーターの育成をし、地域での見守りが行えるようにする等、認知症サポーターの活躍の場を図っていきます。
課長コメント
高齢化に伴い増加する認知症高齢者を支援するため、地域住民を対象に、認知症サポーターを計画的に増員する必要があります。また、地域における高齢者よる相談センターと認知症サポーターとの連携を図るため、地域で見守る活躍の場づくりなど、認知症の知識の普及啓発も同時に進めていきます。